

令和7年第2回定例会（6/17～7/4）

概要

総額60億400万円余の令和7年度補正予算を可決

開会日に選挙が行われ、新しい議長と副議長が決定しました。

知事から補正予算案（緊急に措置を要する経費）や条例案などが提案され、議決しました。

また、議員や委員会から提出された意見案を原案のとおり可決しました。

主な審議日程

6月17日	本会議（開会）
6月19日	本会議 （各委員会の委員選任）
6月20日 ～ 6月25日	本会議（一般質問）
6月25日 ～ 7月 2日	予算特別委員会
7月 3日	常任・特別委員会
7月 4日	本会議（閉会）

本会議・予算特別委員会の主な議論

宿泊税について

宿泊税導入に向け、今後どのようなスケジュールで進めるのか。自治体や事業者の意見をどのように取りまとめ、使途を道民にどう説明していくのか。

米政策について

北海道米が安定供給されるよう、道としてどのように取り組むのか。本道農業を「稼げる農業」とするために、何が必要と考えているのか。

開発行為について

倶知安町での違法な開発や森林伐採をどう認識しているのか。再発防止に向け、規制強化や組織体制の見直しを含め、道としてどのように対応していくのか。

農業政策について

就業人口の減少や高齢化、資材価格の高騰などを踏まえ、次期北海道農業・農村振興計画の策定にどう取り組んでいくのか。農業農村整備の推進にあたり、地域のニーズをどう把握し、取り組んでいくのか。

地域医療について

物価や賃金を反映した診療報酬の見直しや、道内の要望を踏まえた病床数適正化支援事業の実現など、地域医療の維持・確保にどう取り組むのか。地域センター病院など中核的な医療機関への常勤医師の確保にどう取り組むのか。

地方創生について

国で閣議決定された地方創生2.0基本構想を踏まえ、本道の地方創生にどのように取り組むのか。急激な人口減少により財政が厳しさを増す基礎自治体に対し、道として業務への支援や関わりをどう進めていくのか。

主な議決の状況

知事提出案件

【予算案】2件	「令和7年度北海道一般会計補正予算（第1号）」など	⇒ 原案可決
【条例案】10件	「北海道職員等の育児休業等に関する条例及び北海道職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案」など	⇒ 原案可決
【その他の案件】6件	「新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件」など	⇒ 原案可決
【人事案件】3件	「北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件」など	⇒ 同意議決

議員・委員会提出案件

【意見案】6件	「地方財政の充実・強化に関する意見書」など	⇒ 原案可決
---------	-----------------------	--------

定例会の詳細は、道議会Webサイトをご覧ください。

道議会キーワード

定例会においてのホットな話題をお伝えします。

「地域医療」

北海道は広大で、医療機関が中心部に集中し、へき地や離島では医師不足や高齢化が進むなど、医療が受けづらい地域もあります。こうした状況を改善するため、道では医師養成、医療機関の連携強化、在宅医療の充実、ICT導入など多角的に策を講じ、誰もが安心して医療を受けられる体制づくりを進めています。

北海道の地域別医師数（人口10万人あたり）

医師数（医療施設従事医師数）

- 全道平均を上回っている圏域
- 全道平均 70%未満～50%以上の圏域
- 全道平均 50%未満の圏域

※人口 10 万人あたり（単位：人）
※全道平均：254.0 人
※厚生労働省「令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

地域医療に携わることの魅力はどんなところにありますか？

病気だけでなく生活全体を支える”オールラウンダー”として地域に貢献できることです。人々と深く繋がり、まち全体を診るやりがいがあるのが、地域医療の魅力です。

北海道の取組

■ 自治医科大学の設置

地域医療に必要な医師を養成するため、全国の都道府県が共同で設立した大学です。卒業後はへき地などで一定期間勤務すると、修学資金の返還が免除されます。

■ 在宅医療拠点の整備

在宅医療に積極的に取り組む医療機関や、市町村と連携して継続的な医療体制を調整する拠点を整備し、地域で安心して療養できる体制を強化します。

道議会 Q & A

Q 議会はインターネットで見られる？

A 本会議、予算特別委員会、決算特別委員会をインターネットで生配信・録画配信しています。録画は、会議が終了した日のおおむね7日後（土、日、祝日を除く）からご覧いただけます。